

教科名		音楽(器楽)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		教育出版	教育芸術社
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・ギターの内容で、アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法の説明に写真が効果的に用いられるなど、生徒が理解しやすくなるよう工夫されている。 ・巻末の楽典部分が色彩の工夫や写真を多用していて分かりやすい。	・多くの楽器の内容が基本的な部分から丁寧に記述されており、特にリコーダーやギターに関しては、楽器各部の名称や演奏前の準備、奏法・手入れの方法まで記述されている。 ・教科書に学習の手順が示されており、生徒が主体的・対話的で深い学びを進められる配慮がされている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・生徒が主体的・対話的に取り組める教材が精選され、掲載されている。	・楽曲の紹介文や学習目標、活動文、音楽を形作っている要素など紙面構成が分かりやすく工夫されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・時代に即した多種多様な幅広い選曲がされるなど工夫されている。	・3ピースバンド(ギターボーカル、エレキベース、ドラム)の「小さな恋のうた」のバンドスコアが掲載されるなど時代に即応している。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・SDGsとの関連を示すとともに、世界の様々な楽器についても掲載するなど工夫されている。	・伝統的な音楽だけでなく、様々なジャンルの音楽に取り組めるよう工夫されている。
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・奏法や運指が適切な場所に示されており、器楽演奏の一助となるよう工夫されている。 ・「運指表」が折り込みになっており、必要な時に参照しながら学習することができる。	・学習目標が明示されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・二次元コードから伴奏や説明を活用して主体的に学習できるよう工夫されている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・祭囃子の曲から多摩市という地域につなげることができる。	・太鼓のアンサンブルから多摩市という地域につなげることができる。